

1 題材の目標及び題材構想

「生活に役立つ作品の製作」(25時間完了)

(1) 題材の目標

- ① 作品の構想・製作を通して身の回りの技術に目を向け、生活をよりよくするために知識と技術を活用しようとする。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 生活を振り返り、使用目的や使う場所、使う人に応じた工夫をすることができる。
(生活を工夫し創造する能力)
- ③ 工具を正しく使い、使用目的や使用条件に合った作品を製作することができる。
(生活の技能)
- ④ 材料の特徴と利用方法、材料に適した加工法について理解することができる。
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準

| | |
|-----------------------|--|
| 生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】 | 作品の構想・製作を通して身の回りの技術に目を向け、生活をよりよくするために知識と技術を活用しようとしている。 |
| 生活を工夫し創造する能力・・・【工】 | 生活を振り返り、使用目的や使う場所、使う人に応じて工夫し、創造している。 |
| 生活の技能・・・【技】 | 工具を正しく使い、使用目的や使用条件に合った作品を製作する技術を身に付けている。 |
| 生活や技術についての知識・理解・・・【知】 | 材料の特徴と利用方法、材料に適した加工法について理解している。 |

(3) 題材構想

| 各過程のねらい | 時数 | 学 習 活 動 | 教師の支援・留意点 ☆評価規準 |
|-------------------------------|----|--|--|
| ○使用目的や使用条件に合った製作品を構想することができる。 | 2 | 1 設計の進め方を知る。 ・使用目的や条件を考え、製作品を決める。 ・製作品の機能を考える。 2 製作品をアイディアスケッチで表す。 ・収納するものの大きさや出し入れの仕方等、目的に合った構想にまとめる。 | ・先輩の作品を提示し、使用目的、大きさ、使いやすさ、デザイン、置く場所等について気付かせる。 ☆製品の機能について、自分の考えを出そうとしている。 (ワークシート)【関】 ・自分の生活を振り返らせ、整理したい場所、収納したいものを意識させる。 ☆作品の機能を踏まえたアイディアになっている。 (ワークシート)【工】 |
| ○自分の使用目的に合っているか確認することができる。 | 5 | 3 板の組み合わせ方の違いを知る。 ・板の組み合わせ方の特徴を | ・模型を使って構造やデザインを考える場を設定する。 |

| | | | |
|------------------------------|-----------|--|--|
| | | <p>考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市販の家具の組み合わせ方を確認する。 ・アイディアスケッチに組み合わせ方の修正を加える。 <p>4 丈夫な背板を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模型を使い、強度を上げる方法を考える。 ・アイディアスケッチの背板、繊維方向を確認する。 <p>5 製作品に使う引き出しを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品例を見て、引き出しの条件を明確にする。 ・見本のケースの中から引き出しを選ぶ。 ・使いやすい引き出しになるようアイディアスケッチを修正する。 <p>6 製作品を構想図に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチを基にキャビネット図で構想を表す。 | <p>☆見た目の美しさを取り入れた板の組み合わせ方を構想に加えることができる。 (ワークシート)【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験を通し、強さに違いが生じることを実感させる。 <p>☆繊維方向や釘打ちの方向の要素も考えることができる。 (ワークシート)【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ぶ条件を明確にした上で、引き出しを選ばせる。 <p>☆自分の製作品に適するケースを選ぶことができる。 (ワークシート)【工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを活用し作図する。 <p>☆製作品を構想図に表すことができる。 (構想図)【技】</p> |
| <p>○生活に役立つ作品を製作する。</p> | <p>16</p> | <p>7 ミニラックの製作で身に付けた技術を生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切りしろや削りしろを見込んで、仕上がり寸法線と材料取り寸法線をけがく。 ・材料を材料取り寸法線に沿って切断する。 ・仕上がり寸法線に合わせて部品加工する。 ・構想図どおりにできたか検査、修正する。 ・素材に合った表面処理をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道具や接合材料を自由に選択できる環境を設定する。 <p>☆製作品に適した接合方法で正しく加工することができる。 (作品)【技】</p> |
| <p>○製作品の使用目的を基に、学習を振り返る。</p> | <p>2</p> | <p>8 製作品を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した製作品を自己評価する。 ・単元を通して、学んだ内容を生活の中でどう生かしていくかを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・製作品を友達と相互評価し、今後のものづくりに生かす場を設定する。 <p>☆学習を振り返るとともに、ものづくりで学んだことを今後の生活に生かそうとしている。 (ワークシート)【関】</p> |

